

No.	分類	質問内容	回答
1	国システム	エラーコード「EC01 基本情報が重複しています」はどのような状況か。	1回に送信した請求データ内に同一の「事業所番号」「受給者番号」「提供月」の情報が複数含まれていることによる。国システムの請求情報は先に送信されたデータを有効とするので、後から送信後から送信するデータを有効にした場合は、先に送信したデータを取下処理してから新しいデータを送信すること。
2	国システム	エラーコード「EC08 既に利用者負担上限額管理結果票が存在します」はどのような状況か。	過誤再請求を行った場合等において、既に利用者負担上限月額管理結果票が登録されていることが原因。内容の変更を行うのであれば、作成区分コードを「修正」にすること。
3	国システム	エラーコード「ED01 資格 基本情報の重複」はどのような状況か。	考えられる理由は以下のとおり。 ①過誤申立処理を本市がまだ行っていない場合 ②請求システムで、同じ請求情報を複数回送信している場合 ①について、毎月3日までに本市にFAXされたものを当月請求期間中に処理している。締切日までに送付していた場合は障害計画課に連絡をすること。締切日を過ぎていたら来月請求とすること。 ②について、国システムの請求情報は先に送信したものを有効にする。同一の「事業所番号」「受給者番号」「提供月」の請求情報で後から送信するデータを有効にしたい場合は、先に送信したデータを取下処理してから新しいデータを送信すること。
4	国システム	エラーコード「EE01 事業所台帳に該当の事業所情報が無効又は存在しません」はどのような状況か。	受給者証にある上限管理事業所と明細書に登録した上限管理事業所とが異なることが原因。最新の受給者証及び入力内容を確認されたい。
5	国システム	警告コード「EE26 請求サービスコードに対する契約情報が存在しません」はどのような状況か。	請求システムにおいて、請求明細に登録したサービスが契約情報に登録されていないことが原因。実際の支給決定や提供にあわせて契約情報入力を行うこと。
6	国システム	エラーコード「EG02 受給者台帳に該当の受給者情報が存在しません」はどのような状況か。	以下の可能性が考えられる。 ①区番号の誤り(受給者証の区番号及び入力内容を再確認) ②受給者番号の誤り(同上) ③請求月に係る区支給決定が請求月と同月に行われている(支給決定情報が未だ請求システムに反映されていないため、翌月請求をお願いしたい)
7	国システム	エラーコード「EG03 受給者台帳に該当する支給決定が存在しません」はどのような状況か。	明細書に登録した請求サービスコードに係る支給決定が行われていないことによる。最新の受給者証及び入力内容を確認されたい。
8	国システム	エラーコード「EG12 利用者負担上限月額有効期間外の受給者です」はどのような状況か。	①既に支給決定が終了している場合 ②受給者証の発行が遅れている場合 が主に考えられる。詳細は区担当に確認されたい。
9	国システム	エラーコードEG13「該当サービスが支給有効期間外の受給者です」はどのような状況か。	①請求しているサービスが、既に支給期間を終了している場合、 ②請求明細書に登録している契約情報に、既に支給期間を終了しているサービスが含まれている場合、 が考えられる。いずれの場合も最新の受給者証及び入力内容を確認されたい。
10	国システム	エラーコード「EG17 上限額管理対象外の受給者です」はどのような状況か。	受給者証発行に際して、上限管理事業所設定を行っていない場合に生じる。区担当と調整の上、上限管理事業所の設定をお願いしたい。
11	国システム	エラーコード「EG20 受給者台帳で資格を喪失している受給者です」はどのような状況か。	当該受給者番号は既に廃止されている。新たな受給者番号が附番される予定なので、利用者(又は区)から受給者証が提示されるのを待たれたい。
12	国システム	警告コード「EG27 サービス提供量が決定支給量を超えています」はどのような状況か。	受給者証にある支給量よりも、請求システムで登録した明細書にある提供量の合計の方がが多いことが原因。最新の受給者証及び入力内容を確認されたい。
13	国システム	警告コード「EG28 契約支給量が決定支給量を超えています」はどのような状況か。	受給者証にある支給量よりも、請求システムで登録した契約量の方がが多いことが原因。最新の受給者証及び入力内容を確認されたい。
14	国システム	警告コード「EG38 サービス実績量が決定支給量を超えています」はどのような状況か。	受給者証にある1回の支給量よりも、請求システムで登録した実績記録票の1回当たりの提供量の方がが多いことが原因。原則、受給者証にある範囲内でサービスを提供すること(身体介護、通院等状況介助(身体介助有)による緊急対応を行った場合を除く)。
15	国システム	警告コード「EG61 該当サービスが支給決定有効期間外の契約です」はどのような状況か。	契約情報で登録した支給決定期間が受給者証にある支給決定期間から外れている(期間前、期間後に契約期間がある)ことが原因。最新の受給者証及び入力内容を確認されたい。
16	国システム	警告コード「EN09 請求明細書のサービス提供量が契約支給量を超えています」はどのような状況か。	請求システムで入力した契約情報の日数よりも、請求明細書で入力した日数が多い場合に表示される。契約情報を確認されたい。
17	国システム	エラーコード「PB22 処遇改善加算のキャリアパス算定区分が一致しません」はどのような状況か。	毎年2月末までに提出の処遇改善加算届出書に記載された区分と、請求システムに登録した区分が異なることが原因。届出に合わせて請求されたい。
18	国システム	警告コード「PP03 合計算定時間数が実績記録票と明細書で不一致」はどのような状況か。	請求システムで登録した実績記録票のサービス提供時間数と、明細書のサービスコードの時間数を合計したものが一致しないことが原因。サービス提供時間を確認し、実態に合わせて登録されたい。
19	国システム	警告コード「PP04 サービス提供量、契約支給量の合計が決定支給量を超え」はどのような状況か。	事業所の提供したサービス量の合計が利用者の決定支給量を超過していることが原因。得てして複数事業所を利用した際に表示されるので、事業所間での利用調整を行う必要がある。
20	国システム	警告コード「PP09 総費用額が上限額管理結果票と明細書で不一致」はどのような状況か。	上限額管理事業所が登録した上限額管理結果票にある貴事業所の総費用額と、貴事業所が登録した請求明細書にある総費用額が異なっていることが原因である。事業所間での調整をお願いしたい。
21	国システム	エラーコード「PP19 実績記録票に該当するサービスが明細書にありません」はどのような状況か。	以下の状況の場合に表示されるものである。 ①請求明細書がエラー(審査の結果否決された場合を含む)の場合 ②実績記録票の様式が、請求明細のサービスと異なる場合 大半は①によるものであるため、請求明細書が正常であれば消えることが多い。
22	国システム	エラーコード「SZ04 サービス提供報告書(紙)の提出がありません」はどのような状況か。	毎月11日までに当課に送付いただくサービス提供報告書(実績記録票)の提出がないため、審査で否決しことによる。次月請求期間に向けて速やかに提出されたい。
23	国システム	エラーコード「SZ05 明細書とサービス提供報告書の内容が一致していません」はどのような状況か。	請求システムで登録した明細書にあるサービスコードに該当するサービス提供が、別途提出のサービス実績記録票(紙)の写しから確認できないことが原因。実態に合った請求をされたい。
24	国システム	エラーコード「SZ07 実績記録票の同一日・時間に他事業所の請求があります」はどのような状況か。	請求上、2人派遣決定がされていない利用者に対して、複数の事業者が同一日、かつ、同一時間帯にサービスを提供していることが原因。事業者間で実際の時間帯等を確認の上で再請求されたい。

25	国システム	エラーコード「SZ10 受給者台帳記載の利用者負担上限月額と一致していません」はどのような状況か。	受給者証記載の自己負担上限月額と請求システムで登録した自己負担上限月額が異なることが原因。最新の受給者証及び入力内容を確認されたい(川崎市の場合、誕生月の翌月1日に所得区分の見直しを行うので、その月で額が変更される可能性があるため注意されたい)。
26	国システム	エラーコード「SZ12 1回当たりの最大提供量を越えた請求があります」はどのような状況か。	警告コード「EG40 算定時間数が1回当たりの最大提供量を超過しています」が生じている際に、1回当たりの提供量を超過してサービス提供する必要がないと本市が判断した場合に生じる。身体介護、通院等介助(身体介助有)による緊急対応を行った場合は、その旨を実績記録票等を用いて報告した内容を本市で確認する。恒常的に提供量を超えるのであれば、利用計画の見直しをする必要がある。
27	国システム	エラーコード「SZ13 サービス提供量が決定支給量を超過しています」はどのような状況か。	事業所の提供したサービス量の合計が利用者の決定支給量を超過していることが原因。得てして複数事業所を利用した際に表示されるので、事業所間での利用調整を行う必要がある。
28	国システム	エラーコード「SZ28 処遇改善(特別)加算の算定要件を満たしていません」はどのような状況か。	毎年2月末までに提出の処遇改善加算届出書に記載された加算区分と、請求システムに登録した加算区分が異なることが原因。届出に合わせて請求されたい。
29	国システム	エラーコード「SZ34 算定可能な所要時間を満たしていません」はどのような状況か。	居宅介護・行動援護・同行援護は20分未満、重度訪問介護は40分未満の提供時間で請求したことによる。時間帯にもよるが、国基準に基づいて一定時間以上の提供を行われない。
30	国システム	請求で、警告コードが表示されているが承認された場合、再請求を行う必要があるか。 請求がエラーや否決で通らなかった分は、再請求を行う必要があるか。	承認された分は必要なし。承認された請求情報が誤っている場合に限り、過誤再請求を行うこと。 通らなかった分は、再請求する必要がある。直近サービス提供月の請求データと併せて送信すること。
31	国システム	請求システムでデータ送信後に1件誤りに気付いた。本来取り下げを行うところだが忘れてしまい、そのまま承認された。この場合の取り扱いはどうにか。	過誤再請求の手続きをされたい。
32	国システム	請求で、一度送信したデータを取り下げる操作はどのように行えばよいのか。	請求システムは本市にて作成したものではないため、回答しかねる。簡易入力システムであれば国保連に、ベンダーソフトであればソフトウェア会社にそれぞれ確認されたい。
33	国システム	上限管理対象の利用者について、他社の請求が過誤再請求された場合、自事業所の請求情報も過誤再請求する必要があるか。	貴事業所の上限管理結果額に修正がなければ過誤再請求する必要はない。
34	国システム	上限管理結果の1～3の数字の意味は。	1: 上限管理事業所が利用者負担額を全額取るので、他事業所は0円とする。 2: 全事業所の総費用の1割の額の合計が、利用者負担上限額を超過しないので、調整する必要がない。 3: 全事業所の総費用の1割の額の合計が、利用者負担上限額を超過するので、管理結果票の金額に調整すること。
35	国システム	支給量が月途中で変更になった場合、請求システムはどのように対処すればよいのか。	発行された受給者証のとおり、当月1日に遡及して支給量を変更しているの で、当月1日付けで契約内容を修正する必要がある。
36	国システム	月の途中で利用者の苗字が変わった場合、どのような処理をすればよいのか。	新しい苗字でデータを作成し、請求されたい。
37	国システム かながわシステム	4月提供5月請求分について、6月3日までに過誤申立書を送信した場合、請求はどのようにすればよいのか。また、国保連から支払われた給付費はどうなるのか。	毎月3日までに障害計画課宛に提出した過誤申立書については、当該請求期間中に再請求できるよう処理するため、当月10日までに国保連にデータ送信すること。ただし、かながわシステムについては、障害計画課が処理を終える日までは請求情報重複エラー(9553)が出るので、翌日以降もデータ送信をお願いしたい。 過誤したマイナス額は、当該請求期間中に送信した請求額と相殺される。そのため、5月請求分に係る給付額は6月15日に国保連より振り込まれるが、6月請求期間中に行う過誤処理のマイナス額はその振り込みに影響しない(6月請求7月振込分に影響する)。
38	かながわシステム	エラーコード「9009 1レコード内の項目数が違います」はどのような状況か。	必要な情報以外のデータが送信情報に含まれていると推測される。エクセルの「アドイン」にある「入力チェック」を押し、内容確認をされたい。
39	かながわシステム	エラーコード「9553 同一請求履歴があります」はどのような状況か。	かながわシステム上に同一の事業所番号・受給者番号・サービス提供月の請求があることによる。過誤申立書を当月の締め切りまでに提出しているならば、当月請求期間中に市が処理するので、再度請求データの送信をお願いしたい。
40	かながわシステム	エラーコード「9554 重複した請求があります」はどのような状況か。	1人の利用者に対し、同月の請求を送信した時に生じるものである。過去に請求情報がなくても、1回に複数月の請求を行う時、間に他の利用者の請求情報を入力すると重複請求とみなされるため、1人の請求については連続する行に入力すること。
41	かながわシステム	請求情報を送信したところ、「支給決定情報が登録されていません」というエラーが表示されたが、どのようにすればよいのか。	利用者により状況が異なるので、障害計画課あてにFAXで問い合わせること。
42	かながわシステム	パソコンを新調したところ、請求情報CSVを登録できなくなった。どのような状況か。	パソコンのセキュリティ設定のため、登録できなくなっている可能性がある。かながわシステムの掲示板に掲載されている「かながわシステムマニュアル」を参考にセキュリティレベルの調整を検討されたい。
43	かながわシステム	請求CSVで、入力項目が多く、シートが2つに分かれてしまったが請求可能か。	後から送信したものが有効と判断されるため、すべてを請求するならば、エクセルの行を挿入して1つのシートにまとめる必要がある。
44	かながわシステム	先月A区からB区に引っ越した利用者について契約情報を入力したら、「9523 支給決定情報が登録されていません」と言うエラーが出たがどのような状況によるものか。	契約情報の区番号が前の区のままか、支給決定状況によりかながわシステムに転居情報が登録されていないかのいずれかの可能性が高い。新しい区の出力した受給者証の区番号を確認し、相違なければかながわシステム未登録であるので、次月まで請求を待っていただきたい。
45	かながわシステム	上限管理対象の利用者について、他社の国システム請求が月遅れで行われたことになったが、自事業所の当該月の移動支援について過誤再請求して欲しいという依頼があった。何故か。	自己負担額は、国システムがかながわシステムより優先される。そのため、月遅れで国システムの請求がある場合、先にかながわシステムが自己負担額を利用者に請求していると、本来国システムが利用者に請求せねばならない自己負担額を請求できない。そのため、かながわシステムを過誤再請求し、自己負担額を再計算する必要があるため。
46	過誤申立	川崎市以外の受給者の過誤申立はどのようにすればよいのか。	各自自治体により申立に係る書式や受付期間が異なるので、当該自治体に問い合わせられたい。
47	過誤申立	過誤対象件数が大量にあるが、通常と同じく申立してよいのか。	過誤取消の処理期間が限られており、一事業所からの過誤処理のみ処理すると公平性に欠くため、複数月に分割を依頼することがある。事前に相談されたい。

48	過誤申立	当月の請求期間中に過誤再請求を行いたい、当該利用者は長期療養中で前月の利用実績がない。その場合でも再請求は可能か。	可能。前月利用の有無を問わず、請求してよい。
49	過誤申立	過誤申立に係る書式はどのように入手できるか。	平成26年11月現在、「障害福祉情報サービスかながわ」→「書式ライブラリ」→「3. 川崎市からのお知らせ」→「川崎市からのお知らせ」に2014/04/05付けで掲載している。なお、申立に関する手順や注意事項を当該ファイルに記載しているので、確認されたい。
50	請求コード	区によりサービスコードが異なるといったことはあるか。	ない。市内の利用者はすべて同じ請求コードである。
51	請求取下	当月10日までに送信した請求情報の取下げはどの様に行えばよい。	当月20日までに、「障害者自立支援給付費等過誤申立書・請求取下依頼書」に必要情報を記載し、FAXで当課宛に送付する。なお、用紙タイトルの「請求取下」に丸をつけて送信すること。
52	居宅介護	例えば身体介護について、ある人物に複数の事業所がサービス提供している場合、別事業所と自事業所のサービス提供時間の間が2時間空かない場合は、合算して算定する必要があるか。	同一事業所のみ合算対象とする。
53	居宅介護	施設入所支援利用者が一時帰宅した時は、居宅介護等を利用することは可能か。	施設入所支援に係る請求が加算も含めて一切されないことを条件に利用可能。各事業所等と調整されたい。
54	居宅介護	初回加算は前回の提供から2か月空けば再度算定できるとあるが、例えば、10月8日までサービスを提供していたが入院し、12月10日に退院してサービスを提供した場合、初回加算は算定可能か。	不可。この2か月は暦月であり、例の場合は10月1日以降にサービスを提供しているので算定出来ない。
55	通院等介助	通院時の院内での算定時間の考え方は。	原則、受付・会計・薬の受け取り等に要する時間について30分以内で算定してよい(要した時間のみ算定するので、全員が30分算定できるという意味ではない)。単なる待ち時間や治療・診療時間は算定不可。なお、利用者の状況に応じて身体介護等が必要な場合は、個別に判断を行うため、区担当に相談されたい。
56	通院等介助	通院するための身支度の時間は通院等介助で算定可能か。	30分未満であれば算定可能。
57	重度訪問介護	15%決定の対象である「重度障害者等の場合」とはどのような状況のものを指すか。	重度障害者等包括支援の対象要件に該当する者を指す。当該要件については、国基準等を確認されたい。
58	重度訪問介護	最初の1時間が7時30分～8時30分の場合、どのように考えればよい。	国報酬基準留意事項通知で「基準額の最小単位(最初の1時間とする。)までは、サービス開始時刻が属する時間帯の算定基準により算定すること(サービス開始時刻が属する時間帯におけるサービス提供時間が30分未満である場合は、多くの時間を占める時間帯の算定基準により算定すること)」としている。
59	同行援護	自宅外を起終点とすることは可能か。	可能。ただし、終点において他の支援者につなぐなど、利用者の安全確保を図られたい。
60	同行援護	午後5時～午後10時までサービス提供した場合は、どのように夜間加算を設定すればよい。	日中1. 0・夜間2. 0 夜間増2. 0 で請求されたい。
61	契約量の変更	他事業所の依頼で通常は実施しないサービス提供を行うことにしたが、そのサービス量を加えるとこれまでの契約量を超過する。どの様にすればよい。	改めて契約を締結し、支給量を調整されたい。その際、他事業所と調整し、全事業所の契約量が支給決定量を超過しないよう気を付けること。
62	提出書類	毎月11日までに市に提出する書類はサービス提供報告書(実績記録票)に利用者及びサービス提供者の印を押印したものの写しでよい。	お見込みのとおり。
63	サービス提供報告書	1回目の仮点検の結果、エラーが生じていたため修正してデータ送信した。2回目の仮点検結果を待ってからサービス提供報告書(実績記録票)を提出してよい。この場合、障害計画課への到着は11日を過ぎる。	2回目の仮点検結果を待たずに送付されたい。
64	市外ケース	川崎市外の利用者について請求のエラーが生じた場合、どのようにすればよい。	当該利用者に対して受給者証を発行している自治体に確認されたい。
65	自己負担上限月額	居宅介護を複数事業所で、移動支援を1事業所で利用している自己負担上限月額が9,300円の者について、居宅介護のある事業所が月遅れ請求をした結果、最終的に当該月の自己負担額が9,300円を超過した。この場合の対処方法はどうか。	国システムとかながわシステムの上限額管理の仕組みが原因である。法内サービスで上限管理をされていない利用者について、左記のような利用をしていた場合、同一月に請求があった分は、国システム優先で自己負担額を確保し、余った額をかながわシステムのサービスが早く請求情報を登録した事業所から確保する。しかし、国システムはかながわシステムの上限管理を関知しないため、月遅れ請求が行われた場合は自己負担上限額に余裕があると判断し、そのまま請求を受け付ける。そのため、事業所間で調整の上で全事業所が同一請求期間中に過誤再請求されたい。
66	上限管理	自事業所が上限額管理事業所で、他に地域生活支援事業(移動支援、日中短期入所、等)を利用している利用者を担当しているが、この地域生活支援事業についても管理が必要か。	原則不要。システム上で上限管理される。
67	再請求	前月の請求結果を確認したところ、ある利用者に係る請求が返戻されていた。今月の請求に含めたいが、先月送信した情報を取下や過誤する必要はあるか。	ない。
68	家事援助	精神障害者に家事を提供する際に、共同で作業を行う場合、身体介護と家事援助のどちらで算定すればよい。	本市においては家事援助で算定する。
69	実績記録票	2人派遣の時に、2人の従事時間がずれる場合、どのように記載すればよい。	2行にわけてそれぞれの時間を記載されたい。
70	重度訪問介護	移動介護について、報酬算定は3時間以上がすべて1つのサービスコードでまとめられているが、サービス提供量についても3時間と考えてよい。	不可。実際に提供した時間数で考える。
71	行動援護	報酬算定上7時間30分以上はすべて1つのサービスコードにまとめられているが、サービス提供量についても7時間30分と考えてよい。	不可。たとえば、支給決定量が10時間で、9時間提供した場合は、提供できる残り時間は1時間である(2時間30分ではない)。